

資料 1

コード名	コード	内容
診療区分コード	0002	インターフェロン
	0003	ガンマグロブリン
	0004	プロスタグランジンI2製剤
	0005	化学療法
	0006	全身麻酔
	0007	リハビリテーション
	0008	放射線療法
	0010	酵素補充療法
	0014	精神科療法
	0017	A型ボツリムス毒素(ボトックス)
	0019	I131内用療法
	0020	IL-2
	0021	LH-RH
	0022	tPA投与による血栓溶解療法
	0023	アンチトロンピンⅢ製剤
	0024	インフリキシマブ
	0027	抗リンパ球グロブリン
	0028	シクロスポリン
	0031	性腺刺激ホルモン
	0032	ソマトスタチンアナログ
	0034	第ⅩⅢ因子製剤
	0036	トラスツズマブ
	0037	肺サーファクタント
	0038	パリーブズマブ
	0039	ヒトハプトグロブリン(ハプトグロブリン注)
	0045	リツキシマブ(リツキサン)
	KKK0	手術なし
	KKK1	定義テーブルにない手術
	KKK3	補助循環加算

資料 2

コード名	コード	内容
診療科コード	01	内科
	02	精神科
	03	神経科
	04	神経内科
	05	呼吸器科
	06	消化器科
	07	胃腸科
	08	循環器科
	09	小児科
	10	外科
	11	整形外科
	12	形成外科
	13	美容外科
	14	脳神経外科
	15	呼吸器外科
	16	心臓血管外科
	17	小児外科
	18	皮膚ひ尿器科
	19	皮膚科
	20	ひ尿器科
	21	性病科
	22	こう門科
	23	産婦人科
	24	産科
	25	婦人科
	26	眼科
	27	耳鼻いんこう科
	28	気道食道科
	30	放射線科
	31	麻酔科
	33	心療内科
	34	アレルギー科
	35	リウマチ科
	36	リハビリテーション科

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
的場元弘	がん疼痛のレシピ (2007年版)		がん疼痛のレシピ (2007年版)	春秋社	東京	2006	
工藤翔二、土屋了介、金沢実、大田賢、的場元弘、他	IV治療の進歩、医療用麻薬の新しい管理法		Annual Review 呼吸器 2008	中外医学社	東京	2008	248-253

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
西本寛	がん対策基本法をめぐって—院内がん登録の現況と今後の展望	外科学会雑誌	(2)109	101 -104	2008
西本寛	わが国のがん登録の現状と課題	腫瘍内科	(1)2	29-35	2008
橋爪隆弘、富安志郎、余宮きのみ、吉本鉄介、原田亜希子、的場元弘	フェンタニルパッチ導入において添付文書が推奨する先行オピオイド最低用量の妥当性：日本における他施設の専門医処方調査	癌と化学療法	34(6)	897 -902	2007
富安志郎、的場元弘、龍恵美、橋爪隆弘、余宮きのみ、吉本鉄介	内服モルヒネレスキュードーズ簡略化の妥当性：5mg単位での鎮痛効果と副作用の多施設調査	ペインクリニック	28(2)	209 -215	2007
Hideya Kokubun, Misako Fukawa, Motohiro Matoba et al	Pharmacokinetics and Variation in the Clearance of Oxycodone and Hydrocotarnine in Patients with Cancer Pain	Biol.Pharm. Bull	30(11)	2173 -2177	2007

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Hideya Kokubun, Motohiro Matoba, et al	Relationship between fentanyl and transdermal fentanyl concentration and transdermal fentanyl dosage, and intraindividual variability of fentanyl concentration after transdermal application in patients with cancer pain	Jpn.J.Pharm Care Sci	33(3)	200-205	2007
中村和代、国分 秀也、小松敏 彰、的場元弘	がん性疼痛患者におけるオキシコ ドン除放錠の薬物動態についての 検討	癌と化学 療法	34(9)	1449 -1453	2007
的場元弘、余宮 きのみ、他	WHO 方式がん疼痛ガイドラインの 推奨量によるアセトアミノフェン:日 本における有効性と安全性の多施 設処方調査	ペインクリ ニック 28	28(8)	1131 -1139	2007
的場元弘、国分 秀也、余宮きの み、他	経口オピオイド鎮痛薬の重要性と オキシコドンの副作用とその対策	がん患者と 対症療法	18(2)	11-17	2007